

- 問1 最澄が比叡山に延暦寺を建立した際、この寺院が担ったとされる平安京との地理的な関係や役割として、最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 遣唐使が東シナ海へ出発する際の航海安全を祈願するため、難波津に近い山に建設された。 | 2. 天皇の住まいである御所のすぐ隣に配置され、政治の意思決定を直接補佐する役割を担った。 | 3. 奈良の旧仏教勢力との連携を深めるため、平城京と平安京の中間地点に建設された。 | 4. 平安京から見て不吉な方角とされる北東（鬼門）に位置し、都を災いから守る役割を担った。 |
|--|---|---|---|
- 問2 8世紀の正倉院に見られるような大陸の影響が強い国際的な文化から、10世紀以降の日本的な特質を持つ文化へと変化した主な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 宋との貿易が活発化したことで、新しい中国の文化が大量に流入し、それが日本の伝統的な様式と完全に融合して新しい国際文化となった。 | 2. 遣唐使の廃止により中国との公的な交流が途絶えたことで、日本の風土や感性に合わせた独自の生活様式や文化が貴族の間で定着した。 | 3. 武士が政治の実権を握ったことで、それまでの華やかな大陸風の文化が否定され、質実剛健な日本独自の文化が推奨された。 | 4. 仏教が庶民の間に急速に広まった結果、寺院の建築や仏像の制作において大陸の模倣を禁じる法律が制定された。 |
|--|--|---|--|
- 問3 平安時代中期、藤原氏が自身の娘を天皇の妃とし、その子を天皇に立てることで政治の実権を握りました。天皇が幼少のときはその後見人として、成人してからはその補佐役として政治を行ったこの体制を何といいますか。 (2024年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|---------|---------|---------|
| 1. 院政 | 2. 律令政治 | 3. 幕府政治 | 4. 摂関政治 |
|-------|---------|---------|---------|
- 問4 日本の歴史における「奈良時代」や「平安時代」といった名称は、どのような視点に基づいた時代区分ですか。最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 山梨県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|----------------------------|
| 1. 政治の実権を握る組織や施設が置かれた場所に基づいた区分 | 2. 社会を支えていた主要な産業や経済の仕組みに基づいた区分 | 3. 当時の人々の生活様式や代表的な文化の特徴に基づいた区分 | 4. その時代を通じて使われていた元号に基づいた区分 |
|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|----------------------------|
- 問5 平安時代の終わりに、源氏との激しい争いを繰り広げた氏族について述べたものです。壇ノ浦の戦いで滅亡し、その過程で行われた南都焼き討ちが、後に鎌倉時代における東大寺再建の直接的な要因ともなった、この氏族は何ですか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|--------|--------|
| 1. 藤原氏 | 2. 平氏 | 3. 北条氏 | 4. 蘇我氏 |
|--------|-------|--------|--------|
- 問6 平安時代初期、遣唐使として唐へ渡って仏教を学び、帰国後に比叡山に延暦寺を建立して天台宗を広めた僧侶は誰ですか。 (2024年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 行基 | 2. 鑑真 | 3. 空海 | 4. 最澄 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問7 平安時代末期、武士として初めて政治の最高職である太政大臣に就任し、一族の全盛期を築いた人物は誰ですか。この人物は、自身の権威を示すために広島県の厳島神社を大規模に造営し、現在の神戸市にあたる大輪田泊を修築したことで知られています。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 1. 平清盛 | 2. 織田信長 | 3. 白河上皇 | 4. 北条泰時 |
|--------|---------|---------|---------|
- 問8 天皇や貴族、僧侶の間で茶を飲む習慣が見られた平安時代の社会背景において、この時期の出来事として述べた説明として適切なものを選びなさい。 (2021年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 平将門による大規模な反乱が発生し、武士の存在感が地方で高まった。 | 2. 北条泰時が御成敗式目を制定し、武士のための法整備が進んだ。 | 3. 聖武天皇が国分寺建立の詔を出し、奈良の都を中心に仏教文化が栄えた。 | 4. 足利義満が日明貿易を始め、茶の湯などの東山文化が発展した。 |
|-------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
- 問9 平安時代初期、桓武天皇のもとで「軍事」と「造作」という二つの大きな事業を継続するかどうかの議論が行われました。「造作」が平安京の造営を指すのに対し、「軍事」とは、東北地方で朝廷の支配に抵抗を続けていた人々を平定するための戦いを指します。この、東北地方で朝廷に抵抗した人々の呼称として正しいものはどれですか。 (2017年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| 1. 御家人 | 2. 蝦夷 | 3. 防人 | 4. 和人 |
|--------|-------|-------|-------|
- 問10 平安時代の地方政治の混乱と、その後の歴史の展開について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 地方政治の混乱を収めるため、鎌倉幕府は各地域に二毛作を導入し、農業生産力を高めることで治安を安定させた。 | 2. 摂関家が直接地方へ赴き、牛馬を用いた耕作を奨励したことで、地方政治の乱れは速やかに沈静化した。 | 3. 国司が任地に行かず統治が緩んだため、地方の豪族や有力な農民が自衛のために武装し、武士の集団が形成された。 | 4. 国司の不在を補うために、江戸時代の儒学者が提唱した道徳教育が地方の役人に浸透し、政治の腐敗が解消された。 |
|---|--|---|---|
- 問11 平安時代中期、地方政治の混乱に乗じて武士団を率いて大規模な反乱を起こし、関東地方で自らを「新皇」と称した人物と、その出来事の背景として適切な説明の組み合わせを選びなさい。 (2021年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 北条泰時：鎌倉幕府の執権として、武士の社会に適合した独自の裁判基準である御成敗式目を定めた。 | 2. 聖武天皇：全国に国分寺を建て、仏教の力によって国家の混乱を鎮めようと試みた。 | 3. 平将門：国司などの地方官に対する不満を背景に、武士の力を結集して関東の独立を試みた。 | 4. 藤原頼通：摂関政治の全盛期を築き、浄土信仰に基づいて宇治の地に平等院鳳凰堂を建立した。 |
|---|---|---|--|
- 問12 9世紀末に遣唐使の派遣が停止された当時の東アジア情勢と、その後の日本への影響について述べた文として、正しいものはどれですか。なお、中国大陸の沿岸部から博多付近へと至る海上ルートでは、公式な使節以外による活動が行われていたことを考慮して答えなさい。 (2023年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 中国大陸で隋に代わって唐が建国されたため、新しい国交のあり方を検討するために一時的に交流を断絶した。 | 2. 航海技術が未熟で遭難が相次いだため、商人の船も含めて海外との一切の交流が禁止され、完全な鎖国状態となった。 | 3. 唐が衰退して公式な交流の意義が薄れたが、商人による民間貿易は継続され、大陸の物資は日本に流入していた。 | 4. 唐へ留学していた僧侶の阿倍仲麻呂が帰国し、最新の仏教文化を伝えたことで、奈良の貴族文化が全盛期を迎えた。 |
|---|--|--|---|
- 問13 平安時代に、日本の自然環境や当時の支配階層の生活スタイルに合わせて発展した住居のあり方について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|--|
| 1. 農民の住居として、防寒を重視した竪穴住居が依然として主流であった。 | 2. 貴族が住んだ寝殿造は、池のある庭園に面した開放的な邸宅であった。 | 3. 武士が住んだ書院造は、畳を敷き詰めた間に設けた邸宅であった。 | 4. 町人が中心となって、通りに面した間口が狭く奥行きが深い町屋が普及した。 |
|--------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|--|